

豊橋市中央図書館リニューアル基本計画【概要版】

1. 本計画の位置づけ及び中央図書館の役割

図書館は、これまでのように図書の収集・提供を図る役割に加え、図書館という空間を通して図書と人、知識と人、情報と人、人と人などを直接結びつけるまちづくりの創造拠点として、地域に溶け込み、持続可能なまちづくりや地域の活性化に貢献するような変革が求められています。また、予測困難な社会の変化に対し、市民、地域、団体、企業など一人ひとりが主体的に関わり、どのような未来を創り上げていくのかといった問題に対し、自ら考え、自ら可能性を発揮し、より良い社会の創り手となるよう、これからの時代に求められる知識や能力を身に付け、積極的に学び続けることが重要となっており、これらの手助けとして図書館が担うべき役割は大きいものとなっています。

こうした背景から、市内各図書館の現況・課題の整理、重点取組分野を検討し、未来をはぐくむ知と交流の創造拠点の実現を基本理念とした豊橋市図書館基本構想を平成31年3月に策定しました。その中で、中央図書館は、基幹図書館として、また歴史的図書資料を備えた図書館として、あらゆる知的要求に応えることができるよう、上図の施設コンセプト及び役割を掲げています。

本基本計画では、基本構想を踏まえた中央図書館のリニューアルに向けて、より具体的な方針を策定することを目的とします。



2. 施設の現状

住 所 : 愛知県豊橋市羽根井町48番地
構 造 : 鉄筋コンクリート造、地上4階、地下1階建
敷地面積 : 6,426.01㎡
延床面積 : 5,655.32㎡
開 館 : 昭和58年(1983年)2月
蔵書冊数 : 698,558冊(令和6年3月31日現在)
開館時間 : 午前9時30分～午後7時(土・日・祝日は午後5時まで)



施設の老朽化



設備の老朽化

電気設備
空調設備
給排水設備
昇降機設備

➡ 多くの設備が竣工当時から取替えられておらず、耐用年数を大きく超過しているため、全面的な改修が必要

➡ 小荷物専用昇降機は耐用年数を超過しており、生産が中止されている部品もあるため、改修が必要

空間構成の問題



3. リニューアルに対する市民ニーズ

市民意識調査や図書館利用者アンケート、中央図書館リニューアルに向けてのアンケートで得られた主な意見は下表のとおりです。

市民意識調査	図書館利用者アンケート	中央図書館リニューアルに向けてのアンケート
図書館に求めるサービスや環境 ➢ トイレや空調等、施設の改修による快適化 ➢ 図書資料の充実 中央図書館の改修に対する要望(ハード面) ➢ くつろぎながらゆったりと読書ができるスペース ➢ 駐車場 ➢ 飲食できるスペース(サービス面) ➢ 子どもや子育て世代が利用しやすくなるサービス ➢ 気軽に読める書籍・雑誌などの充実 ➢ 高齢者・障害者が利用しやすくなるサービス	充実してほしい設備・機能 ➢ トイレ ➢ 閲覧スペース ➢ 飲食スペース 中央図書館の改修に対する要望 ➢ くつろぎながらゆったりと読書ができるスペース ➢ 飲食できるスペース ➢ 駐車スペースの広い駐車場	改修後に必要だと思うスペース ➢ ゆったり快適に読書に集中できるスペース ➢ 飲食しながら読書ができるスペース 拡充を要望するサービス・機能 ➢ 公衆無線LAN ➢ トイレ ➢ 大人向けイベントや講座 拡充を要望するエリア ➢ 駐車場 ➢ 一般書・文芸書コーナー ➢ 児童室

4. 中央図書館の課題

(1) 施設・設備の老朽化への対応

- 内装、防水、タイル等といった施設の老朽化により安全性、快適性が低下しており、また、諸設備も耐用年数を超過したものが多く、故障や不具合が生じているため、改修が必要。

(2) 書庫の不足

- 大清水図書館やまちなか図書館は閉架書庫がなく、中央図書館や向山図書館の書庫は飽和状態。
- 将来的に配本機能を担う可能性も考慮しながら、書庫の拡張や、搬出・搬入のためのスペースの確保が必要。

(3) 貴重資料の保存・活用

- 指定文化財である羽田八幡宮文庫などの貴重資料を多数所有しており、劣化・破損を防止するための保管方法や展示方法の検討が必要。

(4) スペースの有効活用

- 児童室のテラスや、3階ラウンジ等の十分に利活用されていないスペースがある一方で、閲覧席や飲食スペース、ボランティアの作業スペース等が不足している状況であり、利用状況に即したスペースの有効活用の検討が必要。

(5) 滞在スペースの充実

- 「静」と「動」の空間を分ける等、一人ひとりが快適に滞在できる空間づくりやサービスの検討が必要。

(6) ユニバーサルデザインへの対応

- 誰もが使いやすい施設とするため、トイレや駐車場等、ユニバーサルデザインへの対応が必要。

(7) 空間構成の改善

- 職員の死角となる場所が多い、カウンターが1階、2階に分かれているといった空間構成上の問題が生じているため、レイアウトの見直し等、利用者にとって利用しやすい空間構成への改善が必要。

豊橋市中央図書館リニューアル基本計画【概要版】

5. 基本方針

豊橋市の「知の拠点」として、これまでのように知識や情報資源の蓄積、保存といったあらゆる知的要求に応えていくとともに、時代やライフステージにより変化するニーズに応えていくために、施設も、サービス形態も成長し、利用者にとってもスタッフにとっても快適な空間の創出を図ります。

リニューアル
コンセプト

未来につなぐ みんなの図書館

未来につなぐ図書館

● 豊富な蔵書やサービス提供から新たな創造や自己の発見のきっかけを生み出し、未来を拓く場所
● 歴史や文化、伝統を未来へ継承する場所
● 図書、知識、情報、人などを、図書館という空間を通して直接結びつける、未来のまちづくりの拠点となる場所

みんなの図書館

● だれもが立ち寄る、身近で役立つ存在である場所
● だれもが使いやすく心地よい場所

整備方針（１） 安全で安心して利用できる施設・設備の更新

- 今後長期間安全で安心して利用できるよう、耐用年数の超過や老朽化が著しい施設・設備を更新。
- 利用者が安心して利用できる施設とするため、外構を含めた施設全体の安全性に配慮した整備を実施。

整備方針（２） 快適で魅力ある空間の創出

- 利用者のニーズや業務の効率化に配慮した使いやすい施設とするため、書架の配置や動線の見直しを図るとともに、子どもから高齢者まで、来館者一人ひとりが快適に滞在できる空間の創出。
- 持続可能な開発目標（SDGs）の推進や読書バリアフリー法の理念を踏まえ、性別、年齢、国籍、障害の有無等を問わず、誰にでも利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した整備を実施。

整備方針（３） 図書館サービスの充実にに向けた環境の整備

- 飽和状態となっている書庫の拡張や、貴重資料の保存対策をはじめ、将来にわたる図書館サービスの維持・向上に必要な環境整備を実施。
- 幅広い図書との出会いを楽しめるよう、開架図書や閲覧スペースを充実するとともに、情報発信機能を強化。
- 子どもたちにとって、ゆったり過ごせ、心ゆくまで本に触れられる居場所となるよう、児童室を拡充。

6. サービス計画

整備方針	サービス計画	
① 安全で安心して利用できる施設・設備の更新	● 建物の耐久性に大きな影響を与える屋上防水や外壁補修などの外装部を改修 ● 老朽化により性能が低下している設備や劣化・破損している内装を更新 ● 防犯カメラの設置やレイアウトの工夫、駐輪場の再整備などにより、死角の少ない空間に整備	
② 快適で魅力ある空間の創出	(1) ゆっくり滞在できる空間の創出	● ゆっくり読書ができる閲覧席や集中して学習できる環境を充実 ● 読書等の合間に休憩や飲食ができるスペースや、会話をしながら学習のできるスペースを整備
	(2) 誰にとっても利用しやすい環境の提供	● ユニバーサルデザインに配慮し、誰にとっても利用しやすい環境を提供
	(3) 館内外の快適性・利便性の向上	● トイレの改修や止めやすい駐車場の整備、公衆無線LAN環境の充実 ● 動線に配慮しながら、レイアウトの見直しやわかりやすい案内サインを設置
③ 図書館サービスの充実に 向けた環境の整備	(1) 新たな図書との出会いを促す空間の提供	● 各世代の課題や興味に応じた開架スペースの充実や閲覧スペースの拡張
	(2) 多種多様かつ豊富な図書資料の適切な収集・保存・活用・提供	● 多種多様かつ豊富な図書資料を引き続き収集・保存・活用・提供 ● 分館の蔵書も受け入れることを踏まえて書庫の拡張 ● 羽田八幡宮文庫などの貴重資料を適切に保存するための書庫を整備 ● 配本機能を担う可能性に配慮したレイアウトの見直し
	(3) 子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる児童室の整備	● 子どもが発達段階に応じた図書に出会える機会を増やす ● 読書や学習ができるスペースを充実 ● 子どもたちが本に親しむきっかけとなる読み聞かせスペースを入りやすい快適な空間に整備
	(4) 情報発信機能の強化	● 展示スペースのレイアウトの見直しや改修 ● 行政、学校、地域の各種団体や近隣の図書館などとも連携を進めることにより、情報発信機能を強化
	(5) カウンター窓口サービスの充実	● ワンストップでの開架図書の貸出や一般的なレファレンスサービスを提供 ● 郷土に関することや高度なレファレンス対応に特化した窓口を設置し、幅広い年代の調べ物や子どもの調べ学習の支援を強化
	(6) 図書館ボランティアの活動支援	● 読み聞かせや配架、本の修理などの図書館ボランティアが作業や打合せを行うためのスペースを確保

今後の分館の蔵書受入れや配本機能の移設の可能性も考慮し、現状よりも多くの図書を閉架書庫に保管できるようにします。併せて、開架図書数も増やすことで、開架の割合を現状と同程度以上とすることを目標とします。

目標蔵書冊数 82.0万冊

目標開架割合 25%以上

7. 整備スケジュール

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計発注準備				
基本設計				
実施設計				
工事準備				
改修工事				
開館準備				
リニューアルオープン				